平成 31 年度　大阪府立堺上高等学校指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	コミュニケーション英語Ⅰ	4	第１学年	①All Aboard I English Communication（東京書籍） ②改訂版 Follow Up 英文法 基本ドリル（数研出版） ③Listening Trial　(文英堂)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業では、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」の４技能の力をバランスよく身につけるために、αでは主に「読むこと」「聞くこと」を中心に、βでは「話すこと」「書くこと」を中心に学習していきます。ペア・グループ活動も多く行います。

・外国語学習において大切なのは、声に出して練習することです。積極的に声を出しましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（4 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・日常的な事柄について、決まった表現を用いて誰かとやり取りすることができる。 ・前もって準備した上で自分や他人、身の回りのものなどを人前で紹介することができる。	C 英Ⅰβ 定期考査 ｲﾝﾀﾋﾞｭｰﾃｽﾄ C 英Ⅰαβ 定期考査 ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ	・基本的な語句や表現、基礎的な文法事項などの知識を活用して簡単な英文を書くことができる。 ・身近なこと（好きなもの、嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。	C 英Ⅰα 定期考査、 ｴｯｾｰﾗｲﾃｨﾝｸﾞ C 英Ⅰβ 定期考査 ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ、	・短くて簡単な英語の指示を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りにことについて聞いて理解することができる。	C 英Ⅰαβ Classroom English C 英Ⅰαβ ディスカッション	・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。 ・５０語程度の英文を後戻りすることなく黙読し、要点を理解して音読することができる。	C 英Ⅰα 音読ﾃｽﾄ 暗誦テスト 定期考査 C 英Ⅰβ 音読ﾃｽﾄ 定期考査

3　学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、意欲的に、また、間違うことを恐れずにコミュニケーション活動に参加しているか、的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけていると共に、教材の題材を通して、その背景にある文化などを理解しているかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Prelesson 1・2 (３時間)	自己紹介と好きなもの(be 動詞と一般動詞の復習)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、間違いを恐れずに、意欲的にコミュニケーションを図る。	・セクションごとで習得した表現方法を使ってペアでやり取りをする。	・互いに協力しながら、意欲的にペア・ワークを行っているか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・セクションごとに本文を読んで、その内容を口頭で要約する。	・ペアで、各セクションごとに、本文内容について Retelling する。	・各セクションの概要をペアに伝えられているか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		(本単元では設定しない)			
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・Be 動詞および一般動詞の文中での働きを理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・Be 動詞一般動詞を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。
Lesson 1 (４時間)	『This is My House』世界の家というテーマのもとに、モンゴルとアイスランドの家に始まる各国の文化について知る内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グループにおいて、間違いを恐れずに、意欲的にコミュニケーションを図る。	・他国の文化に関して、知っていることをグループで話し合う。	・互いに協力しながら、意欲的にグループ・ワークを行っているか。	・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・日本文化のよさを知っている単語を使い書いてみる。	・ペアで話し合い、日本文化の中で外国の人に紹介したい点を考え書いてみる。	・トピックに関して、適切な量の英語を書いているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「外国語理解の能力」			
		・本文やそれに関連する英語でのオーラルイントロダクションを聞いて、大まかな内容を理解する。	・ペアで、各セクションごとに、本文内容について Retelling する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・疑問文の表現を理解する。 ・本文に出てくる重要表現を習得する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・疑問文を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (4時間)	『My Favorite hero』 自分の好きな人物を紹介するというテーマで、錦織圭についてプレゼンテーションを行うという内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)			
		「外国語表現の能力」			
		・本単元の内容に関することを英語で描写する。	・本単元に関する絵やスライドを見て、ペアに英語で描写する。	・互いに協力しながら、意欲的にペア・ワークを行っているか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文の内容について、読んだ事を理解する。	・セクションごとに読み、その内容を理解する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・過去形を使った表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・過去形を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。
Lesson 3 (時間)	『Cool Culture from Japan』 海外における日本のアニメ文化の広がりが紹介されている内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)			
		「外国語表現の能力」			
		・調べたことに関して、まとまった英語で表現する。	・日本特有の文化(最近のトレンド)について調べ、その人についてまとまった英文で書き、発表する。	・トピックに関して、適切な量の英語を書いているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「外国語理解の能力」			
		・本文やそれに関連する英語でのオーラルイントロダクションを聞いて、大まかな内容を理解する。	・英語によるオーラルイントロダクションから、マインドマップを利用して内容を理解する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SVO(that ～),SVOO,SVOC を使った表現を理解する。 ・本文に出てくる重要表現を習得する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・知覚動詞を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (5時間)	『A Miracle Mirror』「行ってみたい場所」というテーマで南米ボリビアのウユニ塩湖について紹介されている。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、間違いを恐れずに、意欲的にコミュニケーションを図る。	・セクションごとで習得した表現方法を使ってペアでやり取りをする。	・互いに協力しながら、意欲的にペア・ワークを行っているか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・セクションごとに本文を読んで、その内容を口頭で要約する。	・「行ってみたい場所」というテーマで文章を作り、グループで発表する。	・グループで、互いの発表をきちんと聞き、コメントシートに書き込んでいるか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文の内容を読み理解する。	・セクションごとに、読み、その内容を理解する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・不定詞を使った表現を理解する。 ・本文に出てくる重要表現を習得する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・不定詞を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。
Lesson 5 (4時間)	『Finding My Future』「将来の夢」について語るというテーマのもとに北海道の農業高校の生徒の生活についての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)			
		「外国語表現の能力」			
		・セクションごとに本文を読んで、その内容を口頭で要約する。	・セクションごとに、読み、その内容を理解する。	・トピックに関して、適切な量の英語を書いているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「外国語理解の能力」			
		・本文やそれに関連する英語でのオーラルイントロダクションを聞いて、大まかな内容を理解する。	・英語によるオーラルイントロダクションから、マインドマップを利用して内容を理解する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞(ing 形)を使った表現を理解する。 ・本文に出てくる重要表現を習得する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・疑問詞＋to 不定詞を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。

Lesson 6 （4時間）	『A Funny Picture from the Edo Period』 江戸時代の代表的な浮世絵師である歌川国芳をテーマに日本の伝統文化についての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、間違いを恐れずに、意欲的にコミュニケーションを図る。	・ペアで、歴史上の有名人について相手に英語だけで描写して、当てさせる。	・互いに協力しながら、意欲的にペア・ワークを行っているか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・グループにおいて、間違いを恐れずに、意欲的にコミュニケーションを図る。	世界中の有名な絵画の中からグループで一つ選び、説明する文章を書き、説明する。	・互いに協力しながら、意欲的にグループ・ワークを行っているか。	・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文について、読んだ事を理解する。	・セクションごとに、ジグソー法によりグループで読み、その内容を理解する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了形を使った表現を理解する。 ・本文に出てくる重要表現を習得する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・現在完了形を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。
Lesson 7 （4時間）	『Living on Ice』 皇帝ペンギンの生態についての内容から、環境問題について考えるきっかけを与えている。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)			
		「外国語表現の能力」			
			・好きな動物についてなぜ好きなのかの理由も含めてペアで発表してみる。	・トピックに関して、適切な量の英語を書いているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「外国語理解の能力」			
		・本文やそれに関連する英語でのオーラルイントロダクションを聞いて、大まかな内容を理解する。	・英語によるオーラルイントロダクションから、マインドマップを利用して内容を理解する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・受動態を使った表現を理解する。 ・本文に出てくる重要表現を習得する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・受動態を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (4 時間)	『Building Trust in Space』月面着陸を果たした若田光一の話題から「理想の人物」についてを考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)			
		「外国語表現の能力」			
		・セクションごとに本文を読んで、その内容を口頭で要約する。	・ペアで、各セクションごとに、本文内容について Retelling する。	・各セクションの概要をペアに伝えられているか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文について、読んだ事を理解する。	・セクションごとに、読み、その内容を理解する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞を使った表現を理解する。 ・本文に出てくる重要表現を習得する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・関係代名詞を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。
Lesson 9 (5 時間)	『Pigs from across the Sea』沖縄戦で過酷な生活を強いられた人々の子孫であるハワイの日系アメリカ人がふるさとの沖縄のために行った活動についての内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)			
		「外国語表現の能力」			
		・学んだ内容について思考を深める。	・登場人物になりきって、英語でお礼の手紙を書いてみる。	・互いに協力しながら、意欲的にグループ・ワークを行っているか。 ・プレゼンテーションの方法は適切か。	・グループでの言語活動を観察する。 ・プレゼンテーションの評価シートを用いて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文内容について、読んだ事を理解する。	・セクションごとに、ジグソー法によりグループで読み、その内容を理解する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係副詞を使った表現を理解する。 ・本文に出てくる重要表現を習得する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・関係副詞を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。

Lesson 10 （5時間　）	『I Am Malala』 マララ・ユフザイさんの話を題材に、社会を良くするために必要なことについて考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、間違いを恐れずに、意欲的にコミュニケーションを図る。	・ペアで、あらゆる世界遺産について相手に英語だけで描写して、当てさせる。	・互いに協力しながら、意欲的にペア・ワークを行っているか。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・学んだ内容について思考を深める。	・「あなたの住んでいる地域をよくするために」というテーマで英文のエッセイを書き、全員の前で発表する。	・互いに協力しながら、意欲的に活動を行っているか。	・評価シートを用いて、生徒・教師の双方で評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文内容について、読んだ事を理解する。	・英語によるオーラルイントロダクションから、マインドマップを利用して内容を理解する。	・ノート(ワークシート)にメモを取っているか。	・ノート(ワークシート)を提出させ、チェックする。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較級・最上級を使った表現を理解する。 ・本文に出てくる重要表現を習得する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。 ・本文の暗唱。	・比較級を理解しているか。 ・各セクションの英文を暗唱できているか。	・定期テストにおいて確認する。 ・ノートに暗唱をクリアできたかのチェック欄を作り、提出させる。